

聖書箇所:ピリピ人への手紙2章19~30節
「テモテとエパフロディト」

【1】 キリストを模範に生きる

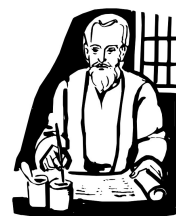
- ▶ 『当事者たちの声“容疑者を救えなかった”兄は悔やんでいたはず』 2022年6月7日 NHK
 - ・ 困難な状況の人に声をかけるか…
 - ・ 私たちが喜びを失う原因の多く = 人間関係
 - ピリピの教会も抱えていた人間関係の課題 (ピ°リ° 4:2)
 - ・ パウロの教える人間関係の秘訣
 - 互いにへりくだること
 - その模範はキリスト (ピ°リ° 2:6~11)
 - ・ キリストを模範に生きるとは？

【2】 福音のために奉仕したテモテ

- ・ テモテの生い立ち
 - ユダヤ人の母、ギリシア人の父
 - 祖母ロイスと母ユニケの信仰を継承(IIテテ 1:3~5)
- ・ ピリピ人への手紙の共同差出人に名前を連ねるに至るまで
 - 第二次伝道旅行の補充要員 (参照使徒 13:13, 15:36~41, 16:1~4)
 - パウロと同じ心でピリピ教会を心配した(ピ°リ° 2:20)
 - 誰よりもイエス・キリストを求めた(ピ°リ° 2:21)

【3】 いのちの危険を冒したエパフロディト

- ・ エパフロディトの生い立ち
 - 異邦人家庭¹
 - ピリピ教会でクリスチャンに
- ・ パウロから「兄弟、同労者、戦友」と呼ばれるに至るまで
 - 獄中のパウロ支援のためピリピ教会から派遣 (4:18)
 - 重い病で命に危険
 - 獄中のパウロ、エパフロディトをピリピ教会へ
- ・ 「大きな喜びを持って、主にあって彼を迎えてください」 (2:29)



▷ 教会が一致して成長するには主が任命された働き人たちのため、とりなし、祈り、そして共に仕え合うことが大切なのです。

「兄弟たち、あなたがたにお願いします。あなたがたの間で労苦し、主にあってあなたがたを指導し、訓戒している人たちを重んじ、その働きのゆえに、愛をもって、この上ない尊敬を払いなさい。また、お互いに平和を保ちなさい。」 (Iテサロニケ5:12~13)

¹ エパフロディトは 1 世紀のよくある名前前で、ギリシャ神話に登場する愛と豊穡の女神アフロディトに由来する名と考えられます。したがって彼の両親は女神アフロディトを信奉する異邦人であったと考えられます。John Gillman, [AYBD](#), “EPAPHRODITUS(PERSON)”